

目次	
・世界の水環境改善に貢献しています	1
・再生可能エネルギー設備を紹介します	2
・東海道川崎宿のオリジナル浮世絵マンホール蓋が誕生しました	
・平成30年度水道事業、下水道事業予算	3
・平成29年度水道水質検査結果のお知らせ	
・プレゼントクイズ	4
・山北町ー川崎市交流事業・夏休み上下水道教室参加者募集	
・第60回水道週間 かわさきみずみずフェアのお知らせ	
・お問い合わせ	

広報紙「かわさきの上下水道」は、年4回(5、8、12、3月)発行しています。次回の発行は、8月下旬の予定です。



世界の水環境改善に貢献しています



世界には、今なお安全な水を利用できない人が6億6,300万人、トイレを使えない人が24億人もいます。上下水道局では世界の水環境の改善をめざし、技術協力による国際貢献を続けていますが、今年度から新たに次の取組を始めます。また、この取組を通じて川崎市のプレゼンス向上や、職員の人材育成もめざしています。



取組 1 インドネシア・マカッサル市での技術協力

インドネシア・マカッサル市では、水道管の漏水等が大きな問題となっています。この様な現状を背景に、上下水道局はJICA「草の根技術協力事業(※)」として、マカッサル市の水道管の漏水削減等をめざして技術協力を行います。

(※) JICA(独立行政法人国際協力機構)「草の根技術協力事業」とは国や地方自治体などが開発途上国に対して行う協力活動を、JICAが支援する事業です。「草の根」とは、日本の国民と相手国の地域住民との間の「草の根」レベルのきめ細かい協力を想定して名付けられました。

＜インドネシア・マカッサル市＞



道路にまで漏水している様子



漏水修理工事

＜ラオスでの活動の様子(2012～2017)＞



現地のバルブ調査



水質検査指導

取組 2 ラオスでの技術協力

ラオスでは、国民の半数以上が水道を使えていないのが現状です。そうした中でラオスは国家目標として「2020年までに都市人口の8割に対して安全で安定的な給水を行うこと」を掲げており、上下水道局は平成24年(2012年)から5年間技術協力を行ってきました。さらに今年度から水道事業管理体制の強化等を目的とした新たなJICAプロジェクト「水道事業運営管理能力向上プロジェクト」が始まります。この中で上下水道局はラオスへの職員派遣や研修員受入などを通じて、技術協力を行っていきます。担当職員は「川崎市と同様に、ラオスの人々にも安全で安心な水を利用してもらえるよう尽力します」と気持ちを語っています。

経営企画課 ☎ 044-200-3739 ☎ 044-200-3982